



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-Oyama City Hospital News letter

1 副院長挨拶 ～ 医療の質を高める「チーム医療」～

近年当院では、個々の患者さんの状況に合わせて、さまざまな医療関連職種 of 専門家たちが連携し治療・サポートを進めていく「チーム医療」の実践が広がっています。

従来は、チーム医療と言っても、医師が中心となり、医療関連職種の専門家達は脇役的な存在として患者さんに関わっていました。いわゆる医師主導型です。しかしこれには限界が見えていました。当然です。医師はすべての専門分野を極めているわけではないからです。真の「チーム医療」とは、医師中心ではなく、関連職種の専門家たちが医師と平面的な立場に立ち、役割分担し主体的に患者さんに関わることで、その専門性をより発揮し、結果患者さんへの医療の質を高め安全を確保することだと言えるでしょう。

「チーム医療」は様々な専門家たちで構成されています。国の「チーム医療推進協議会」では、医師を含めた医療関連職種を「メディカルスタッフ」と呼び、「一人ひとりの患者さんに対して、メディカルスタッフがそれぞれの職種を尊重し、さらに専門性を高めて、発揮しながら、患者さんが満足できる最良の医療を提供する」ことをチーム医療と位置付けています。医療現場で直接・間接に患者さんにかかわる専門家としては、医師、看護師、看護助手、診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師、栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、医療ソーシャルワーカー、診療情報管理士、臨床工学技士、事務部門、施設管理部門など、さまざまな職種があります。さらに、こうした医療現場の専門家だけでなく、患者さんの生活面や精神面をサポートする臨床心理士、音楽・絵画療法士などの専門家のほか、家族や友人、ボランティアなども、広い意味でチーム医療の構成メンバーであることは言うまでもありません。

そして忘れてはならないのは、医療現場では患者さんと医療関連職種の専門家たちは共に治療を進めていくパートナーと考えられています。が、「患者さん自身」も受動的に治療を受ける存在から、自分の人生観や生き方を考え合わせながら、治療過程における意思決定の主体であるという自覚を持つことも大切だと思われま。まさに「患者さん自身」も「チーム医療」の重要な一員なのです。

これまで院長を中心に、真の「チーム医療」の構築を図ってきました。この新しい光を絶やさないためにも、新小山市市民病院は、これからも患者さん・関連職種の専門家たち・家族・サポーターなどすべてに同じように光が当たる（一部に影ができない）「無影灯」のような存在であり続けるべきだと認識しています。

今後ともご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成29年9月

新小山市市民病院 副院長・外科部長 栗原克己

2 TOPICS 小山市近郊地域医療連携協議会セミナー実施

6月21日（水）、当院において、「小山市近郊地域医療連携協議会セミナー」を開催いたしました。第1部では、小山市近郊地域医療連携協議会の各部会長（医師部会・看護部会・医療連携部会・医療技術部会・事務部会）の方々からの活動報告。第2部では、芳珠記念病院理事長・地域包括ケア病棟協会長 仲井培雄氏をお招きし「最大で最強の地域包括ケア病棟」をテーマにご講演頂きました。

今後、地域内の医療連携を充実させるうえで重要となる地域包括ケア病棟のあり方について、14病院の関係者1人1人が学ぶことができました。



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
意見調査の報告	3
連携室からのお知らせ	4

ハイライト

- 地域包括ケア病棟のあり方について、今後の医療連携のあり方までも考えさせられる貴重なセミナーでした。たくさんのご参加ありがとうございました。
- 9月に着任した新任医師をご紹介します
- 医療連携室からは、アンケート調査について簡単ですがまとめました。
分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

第6回

ふれあい祭り

地域とともに

～のぞいてみよう医療の現場～

日時 10月15日(日)

9:50～15:00

毎年恒例のふれあいまつりを開催します。

☆ミニ講演会☆

10:30～11:00

「もの忘れと認知症
～認知症を予防しよう」

認知症看護認定看護師

青木 千江美 看護師長

11:15～11:45

「生活習慣病を
克服しよう」

糖尿病・代謝内科部長

永山 大二 先生

13:30～14:00

「在宅医療モノ語り
～往診靴の中をのぞいたこと
がありますか?」

つるかめ診療所副所長

鶴岡 優子 先生

☆イベント☆

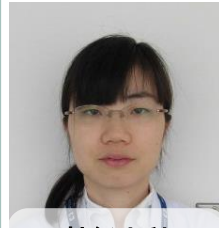
- ☆オープニングセレモニー
- ☆各種医療相談コーナー
- ☆各種医療体験コーナー
- ☆バザー・模擬店・ゲームコーナー
- ☆「おやまくま」がやって来る
- ☆エンディングセレモニー

☆その他イベント☆

- ☆ ロボットスーツHAL (介護支援腰用) 体験
- ☆メンタルコミットロボット パロ体験
- ☆パートナーロボット unibo (ユニボ) 体験
- ☆スラックライン (綱渡り) & ディスクゴルフ体験
- ☆「名医が教えるおいしい減塩レシピの試食」
- ☆「もしもし」手づくり聴診器体験

新任ドクターの紹介

9月採用の新しい医師を紹介します。今月号で神経内科の三浦先生次号で耳鼻咽喉科 坂口先生を紹介させていただきます。



神経内科
医員
三浦 久美子

この度、自治医科大学より着任いたしました 三浦 久美子 (みうら くみこ) と申します。

三重大学卒業後、長野県で初期研修を行い、内科医を1年弱した後に、自治医大にて神経内科と救急科で交互に診療を行って参りました。

今までは救急科として救急搬送の際にご紹介頂いていたと思いますが、このたびは神経内科として赴任いたしました。引き続き、どうぞよろしくお願い致します。

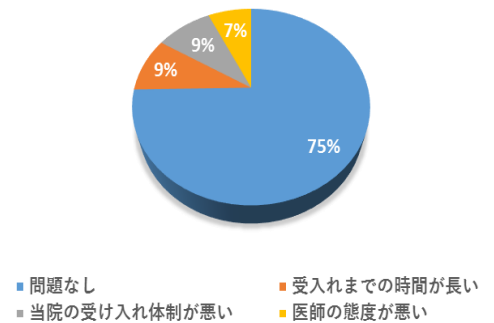
先日、患者支援センターから小山地区医師会会員施設様へ患者紹介に対する意見調査を実施させていただきました。

患者紹介に対する意見調査結果の報告

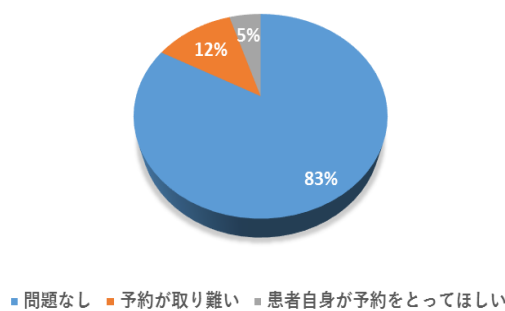
- I 対象 小山地区医師会会員施設 168施設
- II 期間 平成29年6月1日から6月15日
- III 回答があった施設 42 ヶ所 回収率 25%

1. 貴院から当院へ、患者さんをご紹介していただく際の問題点はございますか。

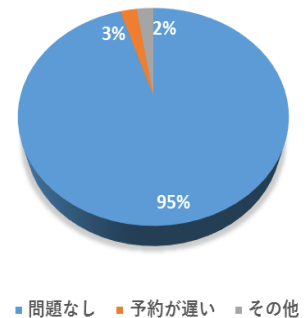
緊急を要する患者さんのご紹介



ご紹介患者さんの受診予約

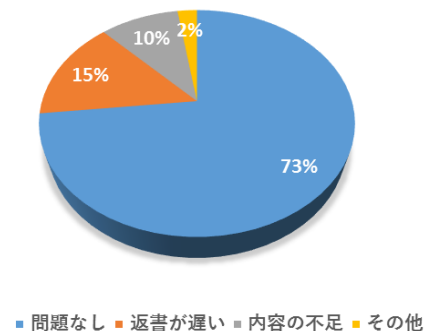


ご紹介患者さんの検査予約



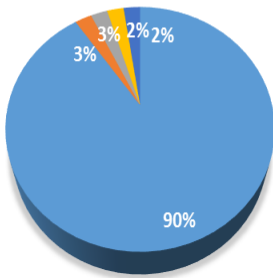
2. ご紹介患者さんの返書の内容、発送時期について

ご紹介患者さんの返書内容、発送時期



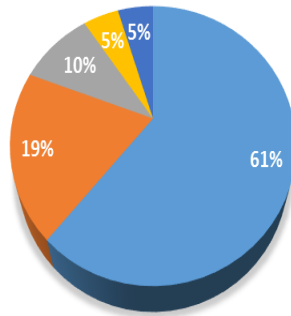
3. 当院から貴院へ紹介する際の問題点はございますか。

適切な患者さんが紹介されているか



- 問題なし
- 逆紹介が少ない
- 時間外に当院を指名しないでほしい
- 在宅医療希望患者は紹介元に打診してほしい

患者さんからのご要望



- 要望なし
- 待ち時間の改善
- 医師の態度の改善
- 当院までの交通が不便

ご回答頂きましたご意見に対して、病院経営改革推進会議において検討しております。この度は、皆様に対してご不便をおかけしていたことが明らかとなり、配慮が足らず大変申し訳ございませんでした。早急に改善策を病院全体で検討していく所存です。

システムの変更、準備などに時間を要するところもございますので、順次、ご報告させていただきます。また、実施可能となりましたら、改めて医師会の先生方には文書にて再度ご連絡させていただきます。



紹介患者に対する意見調査で検討した内容 Part1

このたびの意見調査から、当院で検討できたものを報告させていただきます。



紹介患者さんからの予約をお受けします

『患者さんが直接、市民病院とやり取りをして予約をとるようにしてほしい。』というご意見をいただき、検討した結果、9月6日（水）より紹介患者さんからのご予約をお受けすることになりました。下記要領で行いますので、患者さんにご説明をお願いいたします。なお、従来通り紹介患者予約はお受けいたしますので、可能な限りご連絡をお願いいたします。

予約受付開始：平成 29 年 9 月 6 日(水)

予約方法：水曜日・木曜日 午後 1:00～4:00

TEL:0285-36-0254(医療連携室内・予約専用電話)

【注意事項】

患者さんにお渡しする診療情報提供書の封筒の表書きに、受診を希望される診療科を必ずご記入ください。

※ **消化器内科**と**泌尿器科**については、現在も、外来患者数が多く、予約が開始できない状況になっております。

患者さんには、紹介状を持参し**直接 11 時まで**に来院していただくよう、ご案内をお願いいたします。

ご迷惑をおかけしますが、よろしくをお願いいたします。



患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関する
こと・MSWに連絡・その他、外来
患者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

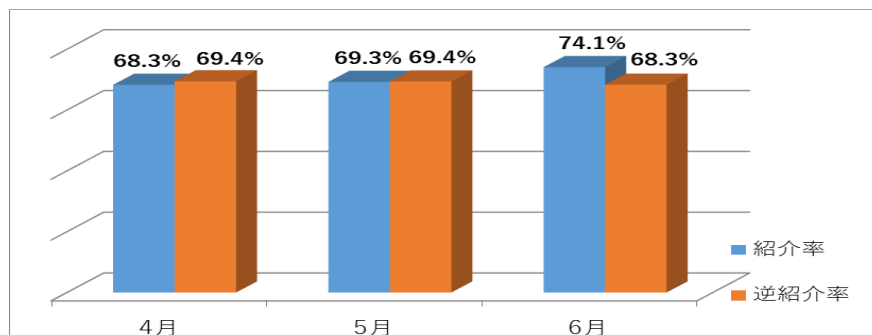


医療連携室からのお知らせ

いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。

平成29年度 地域医療支援病院紹介率・逆紹介率

	初診数	紹介患者数	紹介率	逆紹介患者数	逆紹介率
4月	1,322	903	68.3%	918	69.4%
5月	1,467	1,016	69.3%	1,018	69.4%
6月	1,572	1,165	74.1%	1,074	68.3%



とちまるネット運用講習会について

- ◇ 6月28日(水)《当院の薬剤部が中心》と7月28日(金)《小山地区医師会と共催》に、「とちまるネット運用講習会」を開催いたしました。出席者は6月28日が111名、7月28日が60名(開業医の先生方が19名、当院医師5名、他36名)でした。

今後は、患者さんご紹介の際には是非、同意書を取得していただき、患者さんの診療情報を共有し、診療に役立てていきたいと考えておりますので、閲覧施設で登録されております先生方におかれましては、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

- ◇ **電子的診療情報評価料(30点)の算定方法**

診療情報提供書と併せて、電子的に画像情報や検査結果等の提供を受け、診療に活用した場合に算定する。

施設の共同利用について ~放射線科からのお知らせ~

腹部骨盤腔臓器は、造影CTの方が、情報量が多くなります。

超音波、診察で腹部臓器に病変の存在の可能性が高い場合は、造影CTが診療のお役に立てるかと思えます。

造影剤使用の同意書と腎機能の結果確認があれば、こちらで判断させていただいて、ダイナミックCTなどの特殊な造影CTに変更して行うことが可能ですので、是非ご利用ください。

なお、胸部、頭部のCTは、単純造影でよろしいかと思えます。

- ◇ **【予約の方法】造影剤を使用したCT検査(ダイナミック可)を追加しました放射線科に直接お電話ください。《TEL：0285-36-0261》**

受付時間 8:30~17:15

※ 問診票、同意書に関しましては当院ホームページ(各種書類)からダウンロード可能となっております。

- ◇ **【注意事項】紹介状にクレアチニンの値の記載をお願いいたします。6ヵ月以内のクレアチニンの値が正常であることが条件になります。(目安としてeGFRが45以上)**